



すいがい

から、いのちを
まもるための本^{ほん}

①

^{あめ}雨がふったときのきけんと、
^{あめ}雨のよいところを知ろう

②

^{おおあめ}大雨がふったときには
どうすればよいかを
^{かんが}考えよう

ねん

くみ

なまえ

1

あめ 雨がふったときのきけんと、 あめ 雨のよいところを知ろう！

あめ 雨について がくしゅう 学習しましょう

1 あめ 雨がものすごくたくさんふったらどうなる？

おおあめ なが 大雨が長く、たくさんふると、**かわ みず 川の水があふれたり、いえ まち みず 家のまわりや町が水びたしになったり、たいへんなことになる**ことがあります。

これを「**すいがい**」といいます。

おおあめ 大雨がふって…

とよおか市でも、おおあめ 大雨で「すいがい」がおきて、たいへんなことになったことがあります。

とよおか市立野 上空
豊岡市立野 上空

たちのおおはし
立野大橋



ねん がつ たいふう ごう
へいせい16年10月台風23号

とよおか市立野(円山川右岸)
豊岡市立野(円山川右岸)



▲ かわ 川のていぼうがこわれて、みず まち 水が町にながれた

とよおか市 ことぶきちょう
豊岡市 寿 町



▲ あめ みず 雨の水がたまって、まち みず 町が水びたしになった

とよおか市 出石町 鳥居
豊岡市 出石町 鳥居



▲ かわ ちか いえ 川の近くの家は、みず あふれた水でこわされた

写真:国土交通省 豊岡河川国道事務所

やってみよう！

- ▶ き むかしにおこった「すいがい」について、かぞくに聞いてみましょう
- ▶ じぶん まち 自分の町でおこるかもしれない「すいがい」のきけん (あぶないことやあぶないところ)を し 知っておきましょう

がくしゅう
**学習の
ねらい**

- 1 ^{あめ}雨がものすごくたくさんふったら、どうなるかを考えよう ^{かんが}
- 2 ^{おおあめ}大雨がふったときのきけん(あぶないことやあぶないところ)を知ろう ^し
- 3 ^{あめ}雨のよいところを知ろう ^し

2 ^{あめ}雨のよいところを知ろう ^し

^{おおあめ}大雨がふると、^{かわ}川や^{やま}山、^{まち}町であぶないことがおこることもあります。
でも、^{あめ}雨がふらないと、こまることも、いっぱいあります。雨には、^{こめ}**お米**や**やさい**を
そだてたり、わたしたちののみ水になるなどのよいところもあります。



ポイント

① ^{おおあめ}大雨のときはあぶないところに ^{ちか}近づかない

^{おおあめ}大雨のときは、^{ちか}すぐに近くの
^{あんぜん}あんな場所へ行ったり、
^{そと}外に出るのをやめたり、あぶ
ないところに^{ちか}近づかないよう
にしましょう。



② ^{あめ}雨のよいところをいっぱいもらう

あぶなくない“いつも”の
ときは、^{あめ}雨がくれるよい
ところをいっぱいかんじて
うけとりましょう。



やってみよう!

- ^{おおあめ}大雨のときにあぶなくなるところを、かぞくとかくにんしておきましょう
- ^{おおあめ}大雨のときにどうすればよいかを、かぞくと話し合っておきましょう ^{はな} ^あ

2

おおあめ 大雨がふったときには かんが どうすればよいかを考えよう

1 おおあめ 大雨がふったら、あぶないところには近づかない

おおあめ かわ みず おお
大雨がふると、川の水が多くなったり、ひくいところに水がたまったりします。
かわ ちか
川の近くやみぞがあるところ、水がたまっているところは、ながされたり、
おぼれたりして**とてもあぶないので、近づかないようにしましょう。**



イラスト(右) | 水害ハザードマップ作成の手引き(国土交通省)
http://www.mlit.go.jp/river/basic_info/jigyoku_keikaku/saigai/tisiki/hazardmap/

2 みず 水がこない、あんぜんなところにいよう

おおあめ
大雨がふって、「すいがい」がおこるか
もしれないときは、**水がこない**
あんぜんなところにいるようにしましょう。

いえ
家からあんぜんなところに、
いどうするときは、**水がたまるまえに**
早めにいどうしておきましょう。



やってみよう!

- ➡ おおあめ
大雨で「すいがい」がおきたときに
あぶなくなるところ、あんぜんなところを、
かぞくとかくにんしておきましょう。



- 1 おおあめ 大雨がふったときのきけん(あぶないことやあぶないところ)を知ろう
- 2 おおあめ 大雨がふったときにはどうすればよいかを、かんがえよう
- 3 おおあめ 大雨がふる前にかくにんしておくことを知ろう

ステップアップ ぼうさいマップ

とよおか市では、「**ぼうさいマップ**」という地図を作っています。
「ぼうさいマップ」は、「すいがい」や「どしゃさいがい」がおきたときの
あぶないところや、**あんぜんなところ**が、書いてあります。

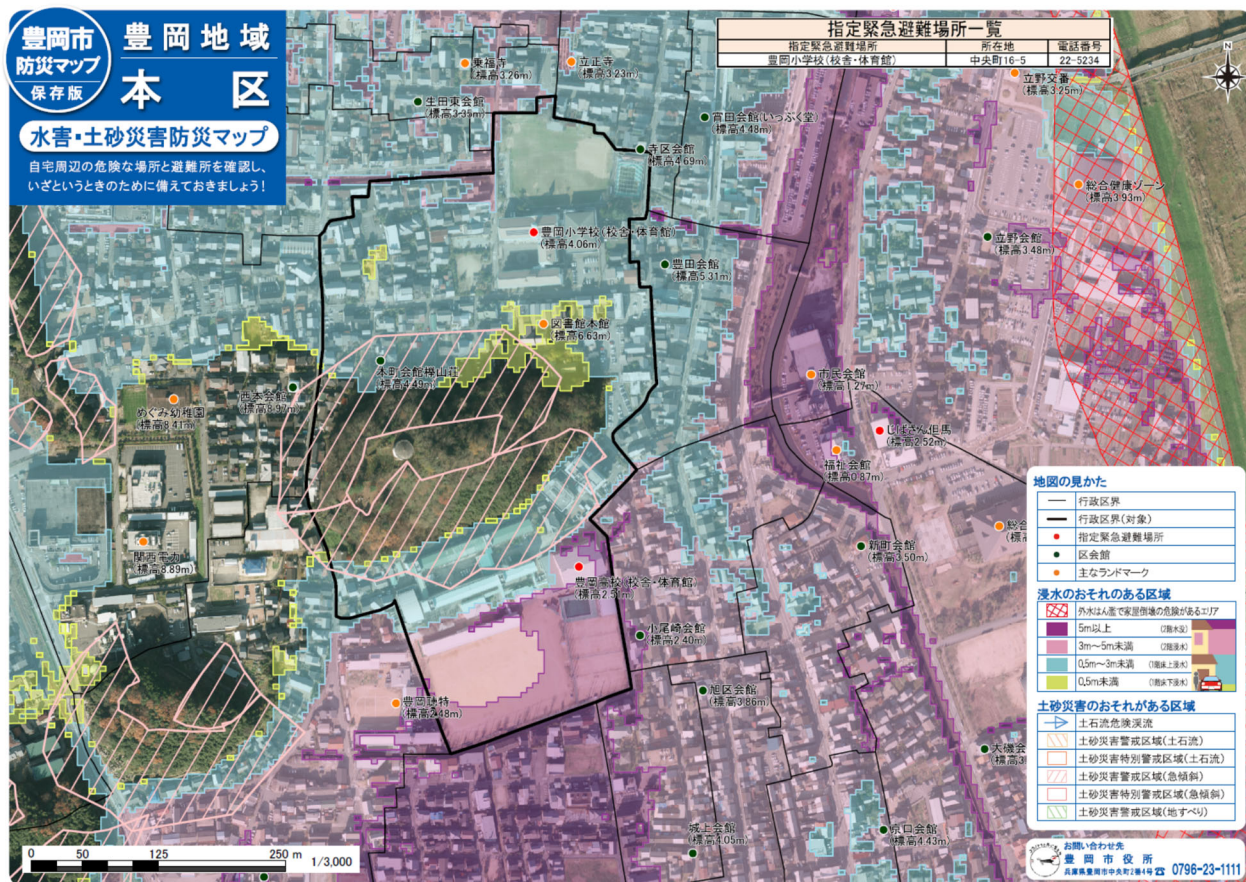


図 | 豊岡市防災マップ, 平成28年11月発行

やってみよう!

ぼうさいマップを見よう

「すいがい」がおきてしまったとき、
どうすればよいか、「ぼうさいマップ」を見ながら
かぞくと話し合っておきましょう



あかぎ まさお ひと し
赤木正雄という人を知っていますか？

めいじ20年（1887）にとよおか市の引野で生まれ東京大学をそつぎょうしてから、内務省（いまの国土交通省）ではたらきました。

「川をあんぜんにするためには、山をなおさなくてはならない」と、全国で山と川の工事をしどしました。

その工事では、山がくずれないように木をうえたり、どしゃが雨水といっしょにながれ出ないようにするぎじゅつをつかいました。このように、山がくずれたりしないようにするたいさくを「さぼう」と言います。このさぼう工事は全国でやくに立ち、せかいでも有名になりました。「さぼうのかみさま」とそんけいされています。「さぼう」という日本語は、世界中で日本語の言い方のまま「SABO」とつかわれています。

あかぎ まさお し ちよう
赤木正雄のどうぞう（とよおか市しおつ町）

でかけるときのいつものスタイル
（リュックサックに登山ぐつのすがた）です。

あかぎ まさお
行ってみよう！ 「赤木正雄てんじかん」

とよおか市引野には、赤木正雄が生まれた家が今でものこっており、国のぶんかざいにもえらばれています。めいじ3年（1870）につくられたときのままです。すいがいにそなえて、地面から2m高い石がきの上に家がたてられています。近所の人たちのひなん場所にもなっていたようです。



いま、家の一部が「赤木正雄てんじかん」になっており、えいぞうやしりょうをみることができます。

おきのただお ひと し
沖野忠雄という人を知っていますか？

江戸時代のおわりごろ（1854）に大磯で生まれ、げんじ元年（1864）とけいおう2年（1866）とめいじ3年（1870）の3回の大すいがいをけいけんしました。学校のせいせきがとてもよかったので、とよおかはんのお金で東京大学に進学し、その後、国のお金でフランスにわたって土木工学を学びました。日本に帰ってから内務省（いまの国土交通省）ではたらかきました。新しいぎじゅつで日本国中のあばれ川やみなとづくりの大工事をしどうしました。とくに大阪港やよど川の工事は有名です。「ちすいのかみさま」とよばれ、そんけいされています。円山川第一期かいしゅう工事のときはたいしょくしていましたが、じゅうようなアドバイスをしました。

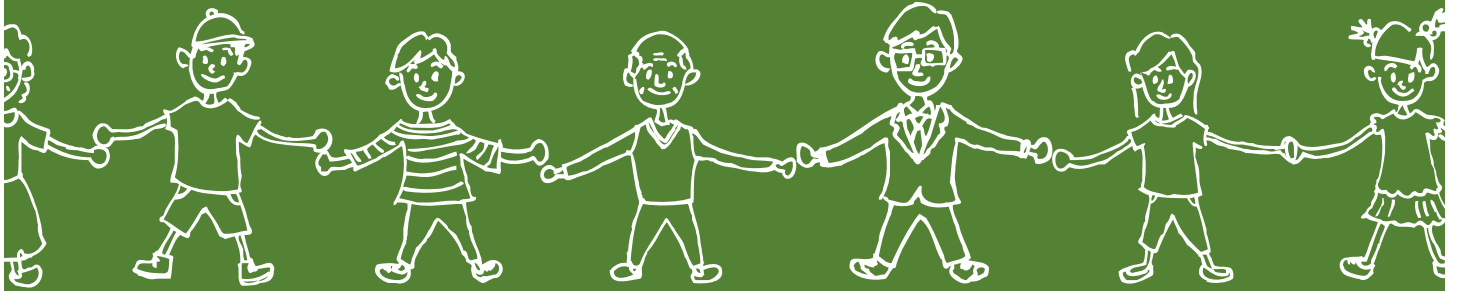


い 行ってみよう！ 「出石神社の沖野忠雄のせきひ」

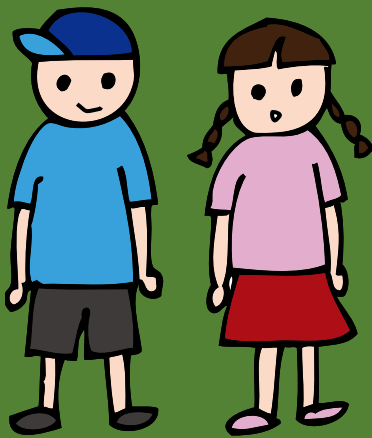


出石神社のけいだいに、とよおか市出石町出身の「ちすいのかみさま」沖野忠雄のせきひがあります。せきひは高さ5mもあります。せきひのうらには「但馬をゆたかな地方にしたアメノヒボコをまつているこの出石神社に、沖野忠雄はかせのひをたてて、はかせのすばらしいしごととじんかくをきねんする」といういみの文章がきざまれています。

出石神社のかみさまアメノヒボコには、どろ水の海だったとよおかぼんちから水をぬいたというでんせつがあります。



だ い じ な こ と を ^か書 いて お き ま し ょ う



かぞくときめた
あんぜんなところ

防災授業副読本